赤ちゃん医学から生まれた

Aprica

ベビー&チャイルドシート・ベッド

# マシュマロJターン ネオ

〈サーモG SpO2〉〈サーモG〉

## 取扱説明書

体重2.5kg以上18kg以下のお子さま用です。
自動車には、3点式シートベルトのみ装着できます。

このたびは、アップリカ製品をお買い求めいただき、ありがとうございます。
ご使用になる前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
マシュマロJターンネオを改造したり、本取扱説明書の取扱い方法以外の方法で使用しないでください。衝突などの緊急時に、お子さまの安全を守るための機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。
また、いざというときのために、本書は必ずチャイルドシートの取扱説明書ポケットに保管してください。



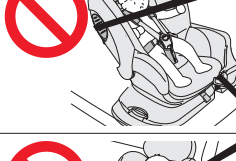

05-07
05MJSNE-03

# もくじ

## ご使用上の注意

- **危険、警告、注意の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、禁止の表示と共に大変重要な内容です。必ず守ってください。**

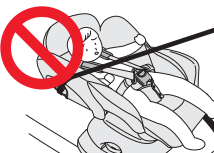
| 表　示 | 表示の内容 |
|---|---|
| ⚠ 危 険 | 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。 |
| ⚠ 警 告 | 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。 |
| ⚠ 注 意 | 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。 |
| ⃠ 禁 止 | 絶対してはいけない内容です。 |

### 危　険

・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

#### ⚠ 危　険

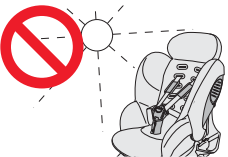
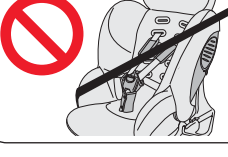
| 禁止事項 | 理由 |
|---|---|
| 体重2.5kg未満及び18kgを越えるお子さま、身長49cm未満及び105cm以上のお子さまに使用しない。 | 衝突や急ブレーキなどにより生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。 |
| 身長が105cm未満であっても頭部重心位置（耳の上端部）がヘッドレストの先端部から上に出るお子さまには使用しない。 | |
| チャイルドシートが確実に固定できない座席では使用しない。 | |

#### ⚠ 危　険

| 禁止事項 | 理由 |
|---|---|
| レッグサポートが車のフロアに接しない、また一部のみ接している状態で使用しない。 | レッグサポートの効果が充分発揮されず、生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。<br>チャイルドシートを取り付ける車のフロアの形状・状態について不明な点は、各自動車メーカー又は、自動車販売店にお問い合わせください。 |
| クッションなどの柔らかい素材で底上げされたフロアの座席には取り付けない。 | |
| 車のフロアに、ヒューズボックス、収納型シート、コンソールボックス、スペアタイヤの収納スペースなどがある座席には取り付けない。 | |
| レッグサポートを取り外して使用しない。 | 衝突や急ブレーキなどによりお子さまが生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。 |
| ベッド状態以外では横向きに使用しない。 | |
| チャイルドシートのバックルを外して使用しない。 | |
| レッグサポートと車のフロアの間にクッション、座布団などを敷かない。また、調節ボタンの前にロックを解除する様な物を置かないでください。 | レッグサポートの効果が充分発揮されず、生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。 |

## ⚠ 危険

| | | |
|---|---|---|
| | お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態では使用しない。 | 衝突や急ブレーキなどによりお子さまが生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。 |
| | SRS エアーバッグが装備された座席にチャイルドシートを後ろ向きに取り付けない。 | 衝突などの緊急時に、エアーバッグの作動によりお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。 |

警　告

・誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

## ⚠ 警告

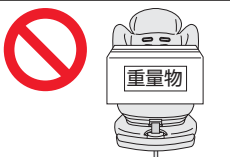
| | | |
|---|---|---|
| | チャイルドシート使用時は、お子さまを一人で車内に残さない。 | お子さまの不特定の行動によりベルトが首に巻き付いたり、炎天下の車内の高温により生命に関わる重大な事故につながるおそれがあります。 |
| | 後ろ向け取り付け時、ベッドで使用しない。 | 衝突や急ブレーキなどにより重大な傷害を受けるおそれがあります。 |
| | 肩ハーネスは、お子さまの肩以外の位置で使用しない。 | 衝突や急ブレーキなどにより首や頭などを締めつけられるおそれがあります。 |
| | ベッド状態でチャイルドシートの座面からお子さまの足がでる場合は使用しない。 | 衝突や急ブレーキなどにより強い圧迫などを受け重大な傷害を受けるおそれがあります。 |

## ⚠ 警告

| | | |
|---|---|---|
| | ベッド使用時は、お子さまの頭が車の外側になるように取り付けない。 | 衝突や急ブレーキなどによりお子さまが強い圧迫などを受け重大な傷害を受けるおそれがあります。 |
| | ベッド横向け使用時、お子さまを拘束したままリクライニングを起こさない。 | お子さまが圧迫され重大な傷害を受けるおそれがあります。 |
| | チャイルドシートは一人用です。二人以上で使用しない。 | 衝突や急ブレーキなどによりお子さまが強い圧迫などを受け重大な傷害を受けるおそれがあります。 |
| | 肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれ、緩んだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。（腰ハーネスは骨盤上に低く下げて着用する。） | |
| | 2 ドア、3 ドア車及び 1 ボックス車など、乗降時に通路となる座席にチャイルドシートを取り付けない。 | 衝突などの緊急時に、内部の人が脱出できず重大な事故につながるおそれがあります。 |
| | チャイルドシートの底面の一部分にクッション、座布団などを敷かない。 | 走行中に敷物が移動し本来の性能を発揮できなくなるおそれがあります。 |
| | 車を走行中にチャイルドシートの操作（ベルト調整、リクライニング操作など）を行わない。 | 運転者が操作すると走行している車が事故につながるおそれがあります。 |

## ⚠ 警　告

| | | |
|---|---|---|
| | お子さまを乗せる前は、チャイルドシートを直射日光にさらさない。 | バックルなどが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。 |
| | チャイルドシートを使用中、お子さまにバックルのPRESSボタンを触らせない。 | バックルがはずれ危険になるおそれがあります。 |
| | 肩ハーネスや股ハーネスに傷、損傷、キ裂、焦げなどがある場合は使用しない。 | 衝突や急ブレーキなどにより重大な傷害を受けるおそれがあります。 |
| | チャイルドシートを改造したり本書の説明以外の方法で取り付けない。 | |

注　意

・誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

## ⚠ 注　意

| | | |
|---|---|---|
| | 車の座席が皮仕様の場合には、直接取り付けない。<br>チャイルドシートと座席の間に保護シート（薄いゴムマットなど）をご使用ください。 | 皮シートが損傷を受けるおそれがあります。 |
| | ベッド状態でお使いの時、座面が車のドアトリムなどに干渉する場合はその座席に取り付けない。 | 肩ハーネスがゆるみ衝突などの緊急時に、お子さまの安全を守る為の機能が十分発揮できなくなるおそれがあります。 |



## ⚠ 注　意

| | | |
|---|---|---|
| | 火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。 | 樹脂が変形し性能を維持できなくなります。 |
| | 通常の椅子として使用しない。 | 転倒して、お子さまがけがをするおそれがあります。 |
| | お子さまが乗っていない場合でも、チャイルドシートのタングはバックルから外しておかない。 | バックルにゴミなどが入り本来の性能が発揮できなくなるおそれがあります。 |
| | 小さなお子さまにチャイルドシートの取り付けや、操作をさせない。 | 衝突などの緊急時に、お子さまの安全を守る為の機能が十分発揮できなくなるおそれがあります。 |
| | 本品を車のシートの可動部やドアに挟まない。 | 本来の性能が損なわれるおそれがあります。 |
| 重量物 | 本品に重量物を載せない。 | |
| | 固定されていない物を車内に置かない。 | 急ブレーキや、衝突時にお子さまに当たるおそれがあります。 |

## ⚠ 注　意

| | | |
|---|---|---|
| | チャイルドシートがシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。 | 重大な事故につながるおそれがあります。 |
| | シートベルトで固定していないチャイルドシートを車内に置かない。 | 衝突や急ブレーキ時に車内に転がり、運転の妨げになることがあります。 |
| | 本体の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。 | 変色、変形、劣化のおそれがあります。 |
| | バックルに水やジュース、泥水、ゴミなどが入った場合は使用しない。 | 衝突や急ブレーキなどによりお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。 |
| | 長期間、ご使用にならない場合は、本品に、市販の袋などをかぶせて直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。 | |

禁　止

・絶対してはいけない内容です。

## ⃠ 禁　止

| | | |
|---|---|---|
| | 事故などで強い衝撃が加わった後に使用しない。 | 外観上破損が見えなくても本来の性能が損なわれる場合があります。 |



## ⃠ 禁　止

| | | |
|---|---|---|
| | 落下、放り投げなどによる強い衝撃が加わった後に使用しない。 | 外観上破損が見えなくても本来の性能が損なわれる場合があります。 |
| | 屋外に放置し雨などにさらした後に使用しない。 | 衝突などの緊急時に、お子さまの安全を守る為の機能が十分発揮できず、生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。 |
| | シートカバー内部のクッション材を外したり、他のものと交換したり、破れた状態で使用しない。 | |
| | 本品を分解、改造、指定以外の部品と交換した状態で使用しない。 | |
| | お子さまとチャイルドシートやハーネスの間に、おもちゃなどを挟んだり、こうそく性能に影響を与えるようなアクセサリーを取り付けない。 | |
| | 保護者、介護者などが椅子など腰掛けとして使用しない。 | |
| | お子さまの遊び道具として使用しない。 | 本来の性能が損なわれる場合があります。また、お子さまがけがをするおそれがありますのでおやめください。 |

## ラベルについて

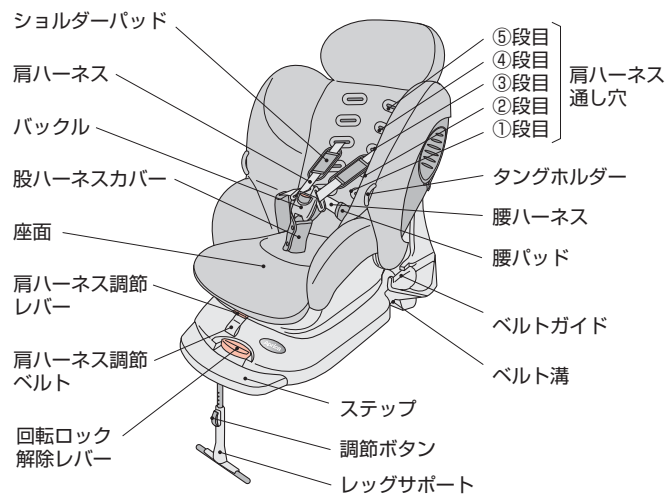
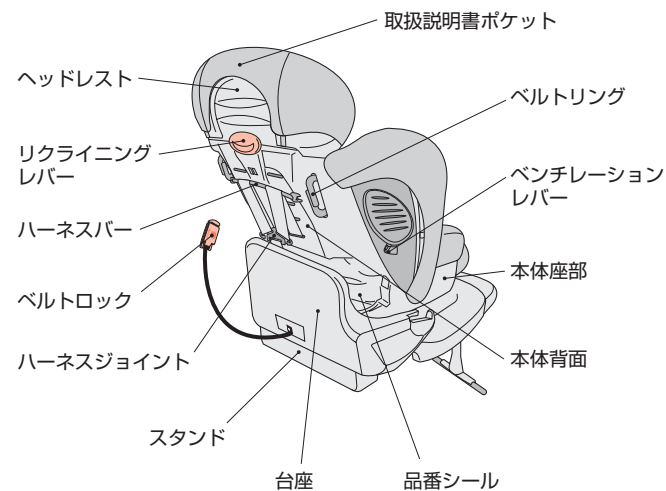
・製品には、ご使用上の注意を記載したラベルを貼付しています。ラベルをお読みいただき内容を必ず守ってください。
・ラベル類は汚したり、はがしたりしないでください。
・ラベル類が読めなくなった場合は、製品名、品番をご確認の上、お買い上げの販売店または弊社サービス係までご連絡ください。

## ラベル類の貼付位置及び内容

## ご使用前の確認

- 製品を箱から取り出した後は、部品が揃っているか、破損などがないかを確認してください。
- 欠品や破損など、ございましたら使用を中止し、お買い上げの販売店または弊社サービス係までご連絡ください。

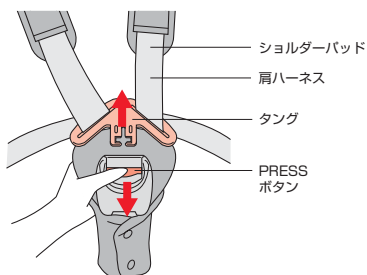
**⚠警告**
・製品が入っている袋を、お子さまの手が届く所に放置しない。お子さまがかぶって窒息するおそれがあります。

## 本体と付属品の名称

## チャイルドシートについて

・チャイルドシートはシートベルトで自動車の座席に固定してご使用いただくことにより、自動車事故などの際に、お子さまの傷害を軽減するためのものです。必ずお子さまを無傷で守ることができるというわけではありません。
・本品は、日本国内でのみご使用いただけます。

## チャイルドシート使用時のアドバイス

・お子さまを最初に車に乗せる時からチャイルドシートの使用を習慣にして、例外をもうけないようにしてください。
・長時間のドライブでは、定期的に休憩を取って、お子さまの気分転換をはかってください。
・車の中では同乗者も必ずシートベルトをしてください。

## 緊急時のお子さまの降ろし方

**緊急の時にはあわてずに、**
**❶バックルのPRESSボタンを足元に押し下げタングを外す。**
**❷肩ハーネスをお子さまから外す。**
**❸お子さまをチャイルドシートから降ろしてください。**
**❹安全な場所へ避難してください。**

## バックルからタングが抜けない時

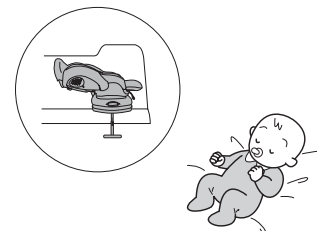
**・チャイルドシートの肩ハーネスを刃物などで切り、お子さまを降ろしてください。**

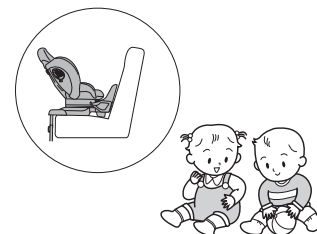


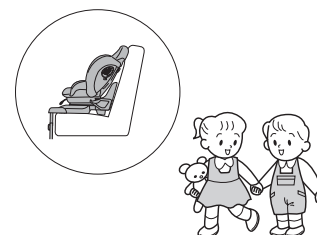
## ご使用になれるお子さまの条件

・下記の条件を満たさないお子さまには使用しないでください。(この条件を満たさないお子さまには事故時のダメージを軽減する効果がありません。)

### 横向きベッド使用

体　　重…2.5kg以上8kg未満
参考身長…49cm以上～65cm未満
参考年齢…新生児～6ヶ月頃
そ の 他…あおむけに寝かせた時、肩ハーネス、腰ハーネスが体にフィットすること。
ヘッドプロテクターを使用してください。
リクライニング…3段目のみ使用可能

### 後ろ向き使用

体　　重…7kg以上10kg未満
参考身長…65cm以上～75cm未満
参考年齢…生後6ヶ月頃～12ヶ月頃
そ の 他…首が安定し、一人座りができること。
リクライニング…2段目のみ使用可能

### 前向き使用

体　　重…9kg以上18kg以下
参考身長…75cm以上105cm未満
参考年齢…1歳頃～4歳頃
そ の 他…お子さまを座らせた時、頭部重心位置(耳の上端部)がヘッドレストの上端部より下になること。
左右のタングがバックルへ差し込めること。
リクライニング…1段目のみ使用可能

# 取り付けできる座席の条件

## 座席の位置及び装備

・車の進行方向に対して前向きの座席。

### お奨めする取り付け座席の位置

・お子さまの安全性を高めるために、２列目以後の座席（運転席より後ろの列の座席）に取り付けることをお奨めします。
・助手席に取り付けた場合、お子さまの動作が気になり運転の妨げになるだけではなく、お子さまが運転装置にさわって事故につながるおそれがあります。

### やむを得ずフロントエアバッグが装備された座席に取り付ける場合の注意

・前向きのみ取り付けできます。（ベッド状態、後ろ向きでは取り付けないでください。）
・助手席をいちばん後ろまで移動させてください。（お子さまに対してエアバッグの影響を少なくすることが必要です。）
・エアバッグを無作動にできる場合は、車の取扱説明書に従ってください。

### サイドエアバッグが装備された座席に取り付ける場合の注意

・車の取扱説明書に従って取り付けてください。
・車の取扱説明書に取り付け方の説明が記載されていない場合は、自動車メーカーのお客様相談窓口にお問い合わせください。
※必ず「取り付けできない座席（車の装備及び取り付け位置による場合）」（P19）をご参照ください。

| ⚠注意 | ・プリテンショナー付シートベルト（強い衝撃を前面から受けたときにシートベルトを引き込む）で強い衝撃を受け作動後は、そのまま使用せずに車の購入店で点検を受けてください。 |
|---|---|

| ⚠注意 | ・車の座席が皮仕様の場合には、直接取付けない。皮が損傷を受けないようにチャイルドシートと座席の間に保護シート（薄いゴムマットなど）をご使用ください。 |
|---|---|

## 座席の形状

・座面の奥行きが 40cm 以上の座席。
・座面の平らな面の幅が 38cm 以上の座席。
※必ず「取り付けできない座席（座席形状による場合）」（P20）をご参照ください。

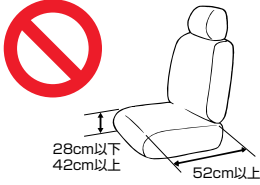
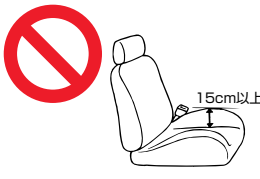
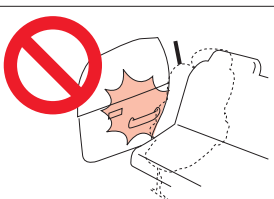


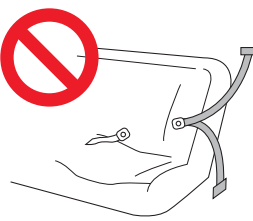
## シートベルトの種類

・詳しくは車の取扱説明書をお読みください。

| シートベルトの種類 | | 特　徴 | 取り付け上の注意点 | 取付可否 |
|---|---|---|---|---|
| 2点式シートベルト | | 肩ベルトがなく腰ベルトのみ。 | チャイルドシートを取り付けないでください。 | 🚫 |
| 3点式シートベルト | ELR（緊急ロック式巻取装置）付シートベルト | 通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に出し入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされる。 | シートベルトをゆるやかに引き出し使用してください。 | ○ |
| | 腰ベルト側にELRが付いたシートベルト | 腰側の取り付け部で出し入れできるELR付き。 | チャイルドシートを取り付けないでください。 | 🚫 |
| | A-ELR（チャイルドシート固定機構）付シートベルト | ベルトをすべて引き出すと、入る方向にしか動かなくなる機構のELR付き。 | シートベルトをすべてもどすと、チャイルドシート固定機構が解除されます。 | ○ |
| | ALR（自動ロック式巻取装置）付シートベルト | ベルトを引き出す途中で手を止めると、自動ロックされる巻取装置付き。 | お子さまを乗せ必要な長さだけ引き出して使用してください。 | ○ |
| | NLR（非ロック式巻取装置）付シートベルト | ベルトをすべて引き出してから長さを調節する。 | シートベルトをすべて引き出した状態から、長さを調節して使用してください。 | ○ |
| | 手動調節式シートベルト | 巻取装置が付いていない。 | 長さを調節して使用してください。 | ○ |
| パッシブシートベルト（オートマチックシートベルト） | | 前部座席に乗ってドアを閉めると自動的に装着され、ドアを開けると自動的に外れる。 | チャイルドシートを取り付けないでください。 | 🚫 |
| その他のシートベルト | | 上記以外のもの全て。 | チャイルドシートを取り付けないでください。 | 🚫 |

※ ○：取り付けできる　🚫：取り付けできない
※必ず「取り付けできない座席（シートベルトの種類による場合）」（P21）をご参照ください。

## シートベルトの取り付け位置

・シートベルトの取り付け位置の幅が 33cm 以上の座席。
・シートベルトのバックルの高さが座面より 15cm 未満の座席。
・シートベルトの取り付け位置の高さが座面より 15cm 未満の座席。
・シートベルトのバックル、及び腰シートベルトの取り付け位置が背もたれより前方に 10cm 未満の位置にある座席。
※必ず「取り付けできない座席（シートベルトの長さや取り付け位置による場合）」（P22）をご参照ください。

# 取り付けできない座席

## 車の装備及び取り付け位置による場合

### ⚠ 危　険

| | | |
|---|---|---|
| | ・車の進行方向に対して横向き及び後ろ向きの座席。 | 衝突や急ブレーキなどによりチャイルドシートが車内の構造物や乗員にぶつかったり、車外に放り出されたりしてお子さまや他の乗員が重大な傷害を受けるおそれがあります。 |
| | ・シートベルトに損傷がある座席。 | |
| | ・シートベルトがついていない座席。 | |
| | ・前列の中央座席。<br>（前列ベンチ座席仕様車） | |

## 座席形状による場合

### ⚠ 危　険

| | | |
|---|---|---|
| 28cm以下<br>42cm以上<br>52cm以上 | ・奥行きが52cm以上の座席。<br>（補助座席、幼児専用座席） | 衝突や急ブレーキなどにより車両より放り出されたり、フロントガラスにぶつかり生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。 |
| 38cm未満 | ・座席のフラット面が狭く38cm未満の座席。<br>（市販座席に取り替えられた車両、スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席など） | |
| 15cm以上 | ・臀部をホールドするため落とし込んである座席で、バックル位置が座面より15cm以上高くなる座席。（チャイルドシートが落ち込むため取り付けが悪くなります。） | |
| | ・大腿部、臀部をホールドするため落とし込んである座席で、チャイルドシートの底面が座席に一部のみ接する座席。（市販座席に取り替えられた車両、スポーツ車、レース車など） | |
| | ・座席以外のピラーやドアなどの車両構造物に本品が接触して、正しく取り付けできない座席。 | |

# 取り付けできない座席

## シートベルトの種類による場合

### ⚠ 危　険

・２点式シートベルトの座席。

・シートベルトの取り付け部が上下共巻き取り式の座席。

・パッシブシートベルトの座席。
（座席に座ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される座席）

・市販のスポーツタイプシートベルトが装備されている座席。

衝突や急ブレーキなどによりチャイルドシートが車内の構造物や乗員にぶつかったり、車外に放り出されたりしてお子さまや他の乗員が重大な傷害を受けるおそれがあります。

## シートベルトの長さや取り付け位置による場合

### ⚠ 危　険

・車のシートベルトの取り付け幅が、33cm 未満の座席。

・バックル側のベルトが樹脂製などで固く、バックル位置が高い座席。（RV 車に多い）
・座面より 15cm 以上高いと、チャイルドシートのベルト固定ガイドに干渉し、チャイルドシートが固定できません。

・シートベルトの取り付け位置が高い座席。座面より 15cm 以上の座席。（2 ドア車に多い）

・車のシートベルトのバックル、及び腰シートベルトの取り付け位置が前方によっている座席。
・背もたれより 10cm 以上前方で、シートリクライニング機構のない座席。

衝突や急ブレーキなどにより車両より放り出されたり、フロントガラスにぶつかり生命に関わる重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さまや他の乗員が重大な傷害を被るおそれがあります。

・シートベルトの長さ（A ＋ B ＋ C）が 220cm 以下の座席。
（220cm 以上なら OK）

シートベルトの長さが短い座席には、ベッド状態で取り付けできません。

# 車への取り付け方法（横向きベッド使用）

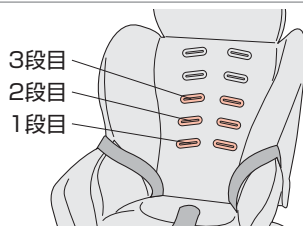
体重：2.5kg以上8kg未満　身長：49cm以上65cm未満
参考年齢：新生児～6カ月頃（首が安定し、一人座りできるまで）

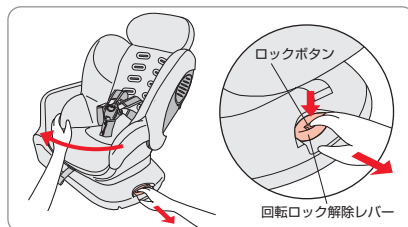
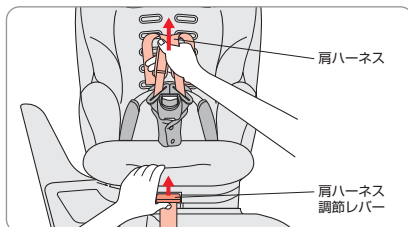
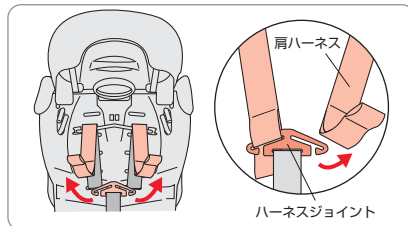
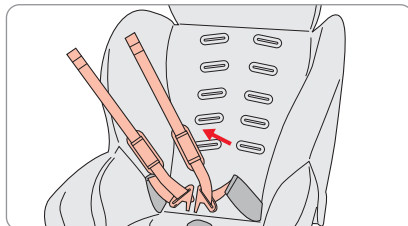
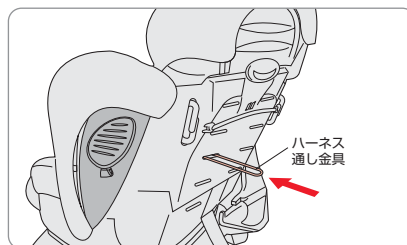
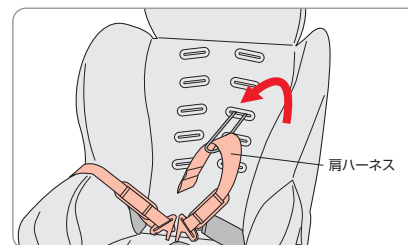
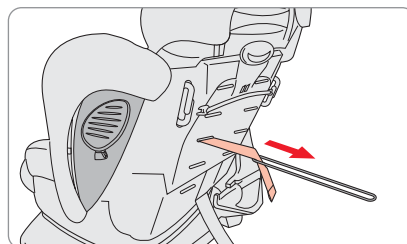
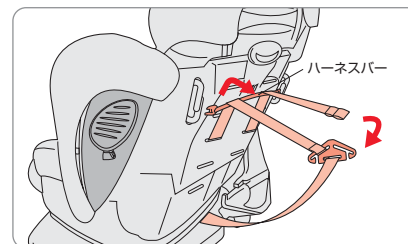
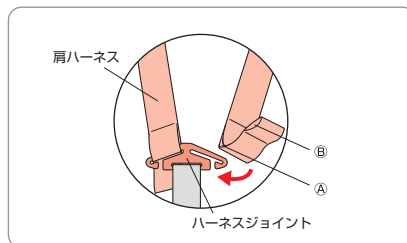
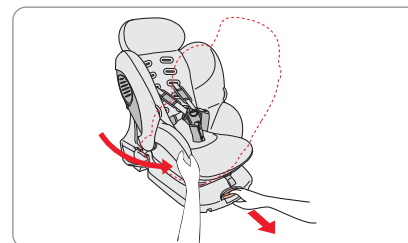
## 本体の準備

・一部で説明のためヘッドプロテクター、新生児パッド、足カバー、腰パッドを外した図を使用しています。

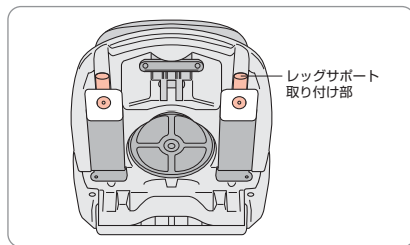
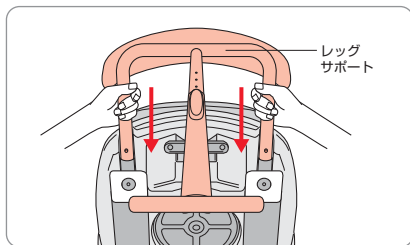
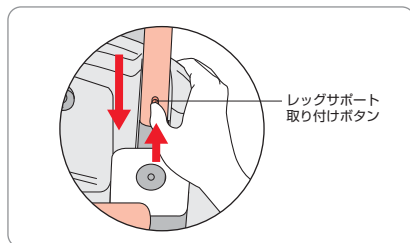
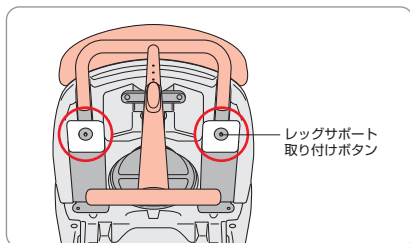
### 肩ハーネス通し穴位置

参考身長
・１段目（50cm位）
・２段目（58cm位）
・３段目（65cm位）
　を目安として、位置を決めてください。

注）箱から出した状態では１段目にセットされております。

| ⚠注意 | ・横向きベッド状態では、肩ハーネス通し穴の４段目、５段目は使用できません。 |
|---|---|

### 肩ハーネスの高さ調節

❶回転ロック解除レバー中央のロックボタンを押しながら手前に引いて本体を横向きに回転させます。

❷肩ハーネス調節レバーを持ち上げながら肩ハーネスを緩めます。

❸ハーネスジョイントから左右の肩ハーネスを外します。

❹背もたれの表側から肩ハーネスを引き抜きます。

❺お子さまの体格に合った肩ハーネス通し穴位置を選択し、背もたれの背面側からハーネス通し金具を差し込みます。

❻本体正面からハーネス通し金具に肩ハーネスを通します。

❼ハーネス通し金具を背面側に引き抜きます。（左右同じ位置）

❽左右の肩ハーネスをハーネスバーに通してからハーネスジョイントにとめます。

❾肩ハーネスには、ハーネスジョイントにとめる位置が２段あります。ベッド時は基本的にⒶの位置を使います。お子さまの体格によってⒶの位置で乗せることができない場合はⒷの位置を使います。

❿回転ロック解除レバーを手前に引いて本体を前向きに戻します。

# 車への取り付け方法（横向きベッド使用）

## レッグサポートの取り付け方

❶レッグサポート取り付け部が見えるように本体を倒します。

❷レッグサポートを取り付け部に差し込みます。

❸左右のレッグサポート取り付けボタンを押しながら本体に押し込みます。

❹レッグサポートが本体に確実に取り付けられていることを確認してください。

❺本体を起こします。

## 本体の取り付け方

❶車の後部座席が前後にスライドする場合は、一番後ろの位置までスライドさせ、リクライニング付きの場合は少し寝かせた状態で取り付けます。

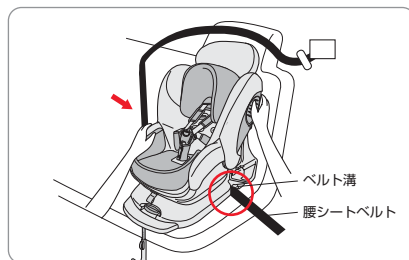
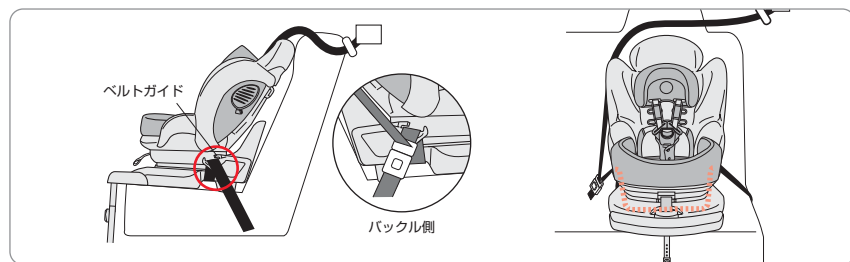
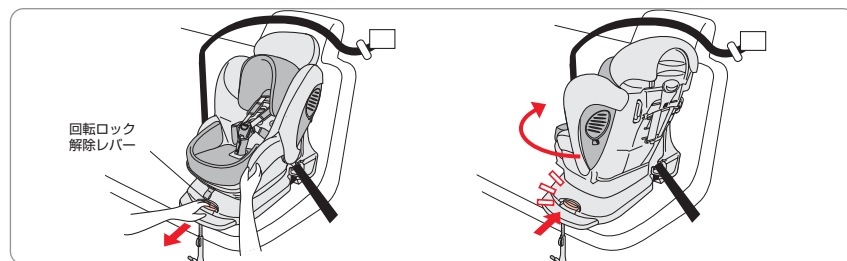
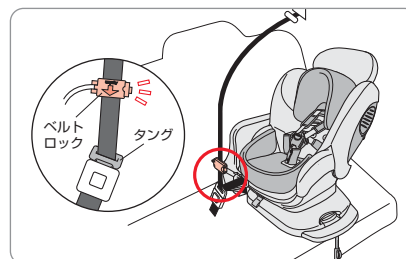
❷シートベルトにねじれがないことを確認して、シートベルトのタングを車のバックルに差し込みます。

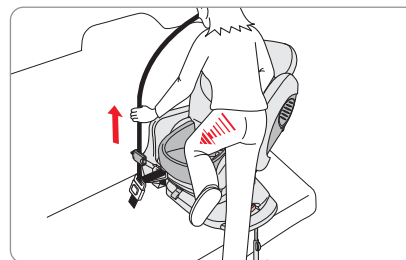
❸シートベルトを全て引き出し、ベルトクリップでシートベルトを仮止めします。

❹肩シートベルトをシートの上側に、腰シートベルトをシートの背もたれから10cm手前にねじれがないように整えておきます。

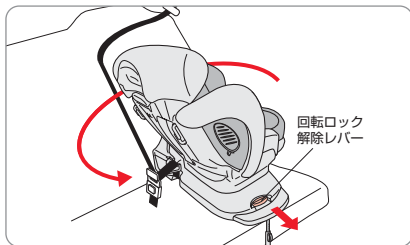
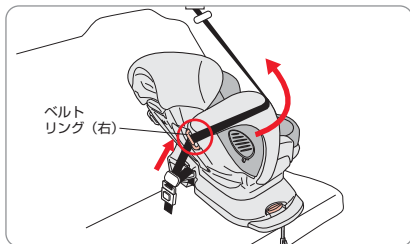
❺本体を前向きに乗せ、ベルト溝と腰シートベルトを合わせます。

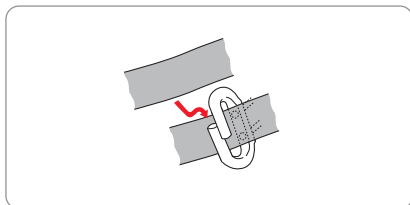
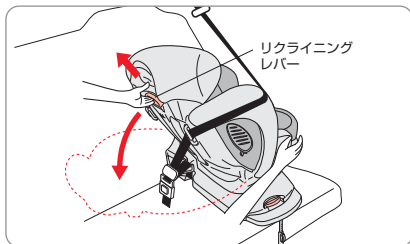
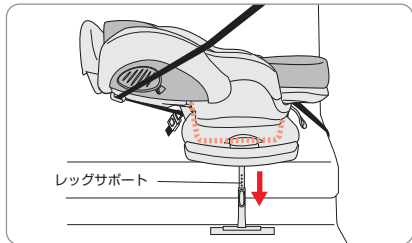
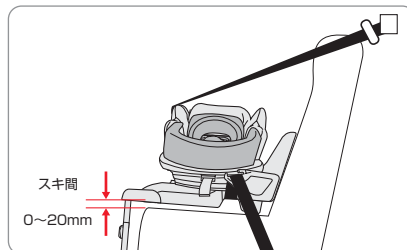
❻レッグサポートの調節ボタンを握り、車のフロアにレッグサポートの底面全体が接地し、安定するように調節してください。この時、チャイルドシートの底面と車の座席前方上面のスキ間は５～25mm 未満であること。（25mm 以上になる場合は、レッグサポートを１段縮めてください。）
※レッグサポートは、８段階に長さの調節ができます。

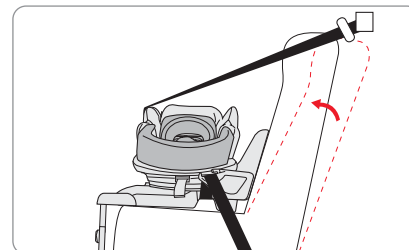
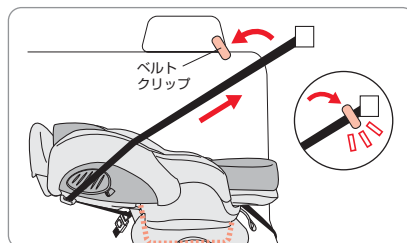
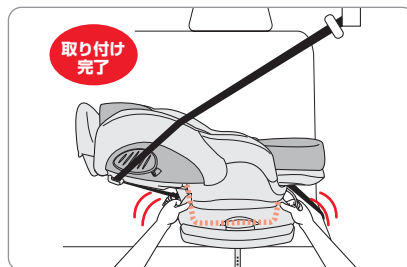
❼レッグサポートが確実に取り付けられているか、取り付け部と調節部を引っ張ってロックが掛かっていることを確認してください。

❽左右のベルトガイドに腰ベルトを通します。

❾回転ロック解除レバーを手前に引いてヘッドレストが車内外側に来るように回転させ、レバーをはなすとカチッと固定されます。

❿ベルトロックの矢印をタング側に向けタングの少し上に仮止めします。

⓫本体に体重を掛けながら、肩シートベルトを真上に強く数回引き上げ保持します。

⓬肩シートベルトを保持しながらベルトロックをタングに当たるまで移動させます。

# 車への取り付け方法（横向きベッド使用）

⓭回転ロック解除レバーを手前に引いてヘッドレストが車内中央側に来るように回転させます。

⓮チャイルドシートのベルトリング（右）に車のシートベルトを通し、ネジレがない様に整えます。（ベッドの向きが図の方向と逆の場合、ベルトリングは左側を使用します。）

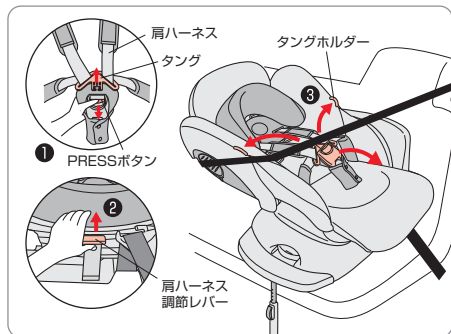
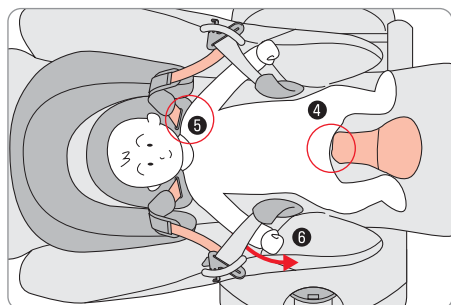
車の肩ベルトをベルトリングに通す方法

①車の肩シートベルトをベルトリングの隙間から内側に通してください。
②肩シートベルトが完全にベルトリングの内側にあることを確認してください。

⓯リクライニングレバーを引き上げ、リクライニングで角度を３段目（ベッド状態）にします。

⓰レッグサポートが車のフロアに接していることを確認します。

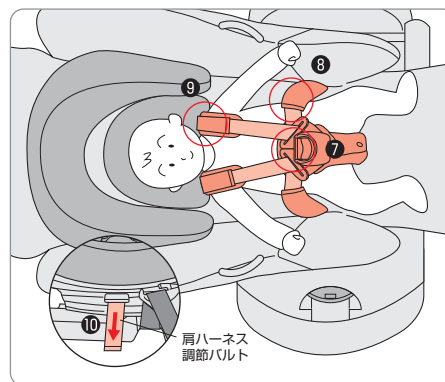
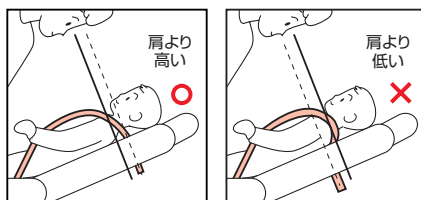
⓱チャイルドシートの底面と車の座席前方上面のスキ間が０～20mm 未満であることを確認します。（20mm 以上になる場合は、レッグサポートを１段縮めてください。）

〈座席にリクライニング機構がある場合〉
⓲❶～⓱の作業終了後、車の背もたれをチャイルドシートに強く当たるまで起こすと、より強く取り付けができます。

⓳仮止めのベルトクリップをはずし、余分なシートベルトを巻き取らせます。シートベルト出口に再度ベルトクリップを取り付けます。

⓴チャイルドシート本体をゆすりシートベルトの緩みが無い事を確認してください。

| ⚠注意 | ・チャイルドシートを車から取り外す時はベルトクリップを最後に外してください。<br>・A-ELR（チャイルドシート固定機構）付シートベルトの場合は取り外し作業中にベルトクリップを外すと、ゆるんだシートベルトが全て巻き取られて取り外しが出来なくなるおそれがあります。 |
|---|---|

# お子さまを乗せる時（横向きベッド使用）

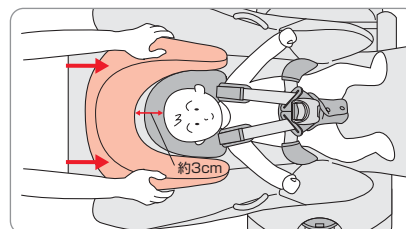
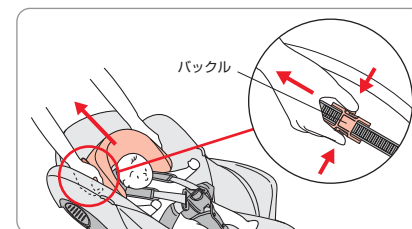
## お子さまの乗せ方

| ⚠注意 | ・ベッドでご使用の際、ヘッドプロテクターが取り外してある場合は、必ず取り付けてからご使用ください。（P36 参照） |
|---|---|

❶バックルのPRESSボタンを足元方向に押し下げてタングを外します。
❷肩ハーネス調節レバーを持ち上げながら肩ハーネスを手前に引き緩めます。
❸左右のタングをタングホルダーに掛け、バックルを前に倒します。

❹お子さまの股間と股ハーネスカバーが接する位置にお子さまを寝かせます。
❺肩ハーネスが、お子さまの肩の位置より高い肩ハーネス通し穴に通っていることを確認します。
❻お子さまの手は肩ハーネスの下にくぐらせます。

| ⚠注意 | ・ベッド使用の場合の肩ハーネスの位置は、背もたれに対して直角に見て必ず、お子さまの肩よりも高い位置にしてください。（0～5cm 以内） |
|---|---|

❼バックルをお子さまの腹部に当て、左右のタングを合わせてバックルへ差し込みます。
❽腰ハーネスがお子さまの骨盤上に来るように低く下げてセットしてください。
❾ショルダーパッドは、お子さまの肩の上にくるようにセットします。
❿肩ハーネス調節ベルトを引っ張り肩ハーネスを締めます。（肩ハーネスとお子さまの体の間に大人の指１本入る程度まで締めます。）

## パッド類について

### ヘッドプロテクターの位置調節

・お子さまの頭頂部と新生児パッドまたは、ヘッドプロテクターのスキ間は、指２本程度（約 3cm）離れた位置に調節します。

〈縮める場合〉

●ヘッドプロテクターのヘッドレスト側から足元に向かって押し込みます。

〈伸ばす場合〉

●ヘッドプロテクターの左右にあるバックルの上下ボタンをつまみながらヘッドレスト側に引きのばします。

※次の表は、各パッド類の取り外し時期の目安です。

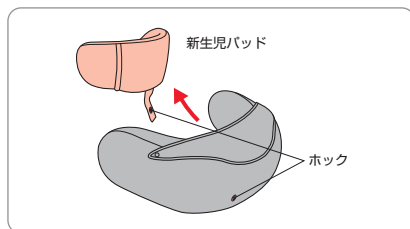
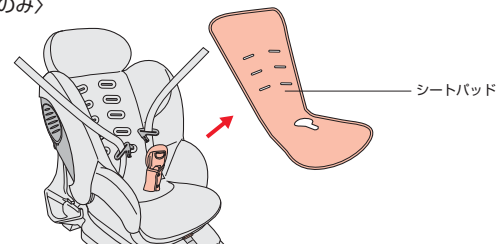
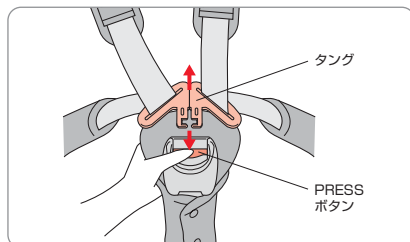
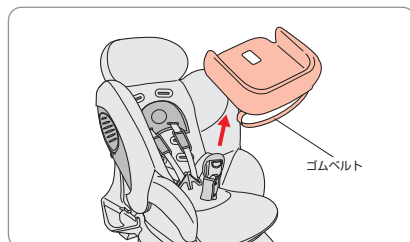
**（サーモG）**

| 発達状況 | ヘッドプロテクターB | ドーナツピロー | 腰パッドA |
|---|---|---|---|
| 新生児 | 必　要 | 必　要 | 必　要 |
| 首が安定してから | 必　要 | 外しても良い | 必　要 |
| 腰が安定してから | 必　要 | 外しても良い | 外しても良い |

**（サーモG SpO2）**

| 発達状況 | ヘッドプロテクターC | ドーナツピロー | シートパッド | 腰パッドB | 新生児パッド |
|---|---|---|---|---|---|
| 新生児 | 必　要 | 必　要 | 必　要 | 必　要 | 必　要 |
| 首が安定してから | 必　要 | 外しても良い | 外しても良い | 必　要 | 外しても良い |
| 腰が安定してから | 必　要 | 外しても良い | 外しても良い | 外しても良い | 外しても良い |

※ヘッドプロテクターB、Cは横向きベッド使用時には必ず必要です。
※お子さまに合わなくなった場合は、上記の表を目安に各パッドを取り外してください。
※各パッドの外し方はP33～34、ヘッドプロテクターB、Cの外し方はP36をご参照ください。
※フットプロテクターA、Bは、車内温度及びお子さまの状態で取り付け、取り外しの判断をしてください。

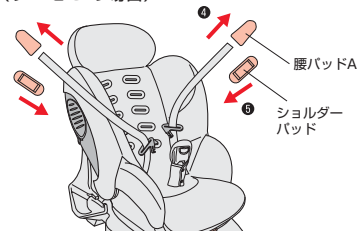
## 新生児パッドの取り外し方〈サーモG SpO2のみ〉

●ヘッドプロテクターCの後面のホックを外し新生児パッドを取り外してください。
※ヘッドプロテクターの取り外し方はP36をご参照ください。

## フットプロテクターの取り外し方

❶バックルから左右のタングを外します。

❷スライドシートの下側にまわしてあるゴムベルトを外し、上方に引き抜きます。

## ドーナツピロー、シートパッド、腰パッドの外し方

❶ハーネスジョイントから左右の肩ハーネスを外します。

※肩ハーネスの高さ調節はP23をご参照ください。

❷肩ハーネスを手前に引き抜きドーナツピローを取り外します。

❸シートパッドを取り外します。

❹肩ハーネスからショルダーパッドを抜き取り、腰パッドAを抜き取ります。
❺肩ハーネスにショルダーパッドを必ず戻します。

❹ホックを外し、腰パッドBを取り外します。

## 取り付けチェック

・チャイルドシートのベース中央部分を両手で持ち前後左右に動かしても安定している事を確認してください。
・ベルトロックが確実に取り付けられ、緩みがない事を確認してください。
・シートベルトがベルトリングを確実に通っているか確認してください。
・レッグサポートの調節ボタンの前にロックを解除する様な物が無いことを確認してください。

※ヘッドプロテクター・新生児パッド・ドーナツピロー・フットプロテクターは、ベッド状態でのみご使用ください。後ろ向き及び前向きの場合は、上記プロテクター類を取り外してください。

### フィットスペーサーの使用方法

・腰部をホールドするために落とし込んである座席などでベース背面が一部のみ接する座席や、座席の背もたれ角度がチャイルドシートのベース角度に合わずにグラツキが大きい場合に使用してください。

●ベースの背面と座席背もたれの間に挟み込んでお使いください。

**⚠注意**
・フィットスペーサーを使用してもチャイルドシートのグラツキが改善されない場合はそのまま使用せずに弊社サービス係に連絡してください。





体重： 7kg 以上 10kg 未満　身長： 65cm 以上 75cm 未満
参考年齢： 6 カ月頃〜 12 カ月頃（首が安定し、一人座りできるお子さま）

## 本体の準備

**⚠注意**
・ヘッドプロテクター、新生児パッド、ドーナツピロー、フットプロテクターは後ろ向きで使用しない。

### ヘッドプロテクターの取り外し方

❶ヘッドプロテクターの左右にあるバックルの上下のボタンをつまみながらヘッドレスト側に抜き取ります。

❷マモール位置調節ベルトをシートの中に収納します。

※取り外したマモールはビニール袋などに入れ大切に保管しておいてください。

### ヘッドプロテクターの取り付け方 〈再びご使用になる場合〉

❶シートのマモール位置調節ベルト収納用穴からマモール位置調節ベルトを引き出します。

❷ヘッドプロテクターの左右のバックルをマモール位置調節ベルトに差し込みます。（取り付け時には、ヘッドプロテクターの表裏を注意してください。）

# 車への取り付け方法（後ろ向き使用）

## 肩ハーネス通し穴位置

参考身長
・３段目（65cm 位）
・４段目（75cm 位）
　を目安として、位置を決めてください。

## 肩ハーネスの高さ調節

・P23 ～ P24 肩ハーネスの高さ調節の❶～❿の手順に従います。

❽４段目のみハーネスバーに通さず、そのまま下へおろします。

❾肩ハーネスは、Ⓑの位置を使います。
お子さまの体格によっては、Ⓑの位置で肩ハーネスが余る場合があります。
その場合は、Ⓐの位置を使います。

## レッグサポートの取り付け方

・P25 レッグサポートの取り付け方の❶～❺の手順に従います。

## 本体の取り付け方

❶車の後部座席が前後にスライドする場合は、一番後ろの位置までスライドさせ、リクライニング付きの場合は少し寝かせた状態で取り付けます。

❷シートベルトにねじれがないことを確認して、シートベルトのタングを車のバックルに差し込みます。

❸シートベルトを全て引き出し、ベルトクリップでシートベルトを仮止めします。

❹肩シートベルトをシートの上側に、腰シートベルトをシートの背もたれから10cm 手前にねじれがないように整えておきます。

❺本体を前向きに乗せ、ベルト溝と腰シートベルトを合わせます。

❻レッグサポートの調節ボタンを握り、車のフロアにレッグサポートの底面全体が接地し、安定するように調節してください。この時、チャイルドシートの底面と車の座席前方上面のスキ間は５～25mm 未満であること。（25mm 以上になる場合は、レッグサポートを１段縮めてください。）
※レッグサポートは、８段階に長さの調節ができます。

❼レッグサポートが確実に取り付けられているか、取り付け部と調節部を引っ張ってロックが掛かっていることを確認してください。

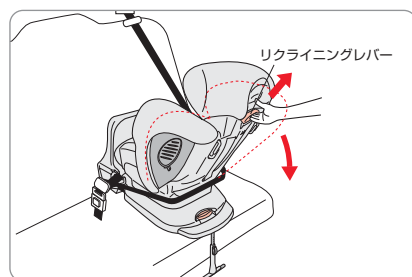
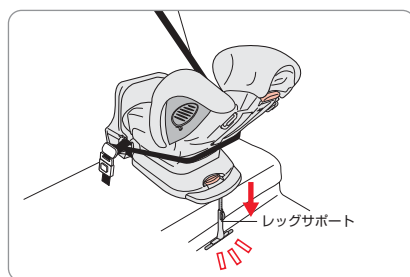
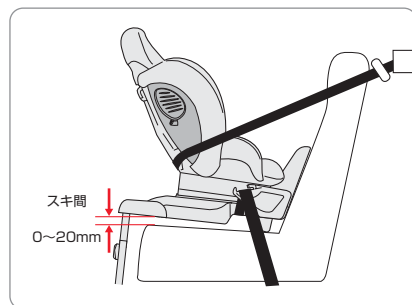
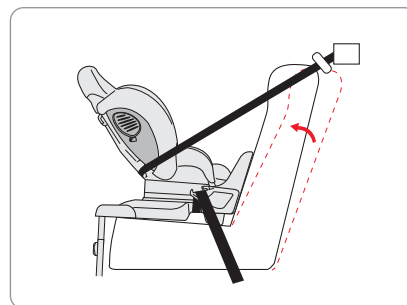
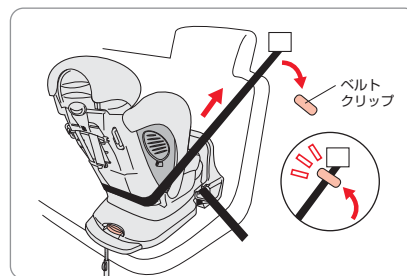
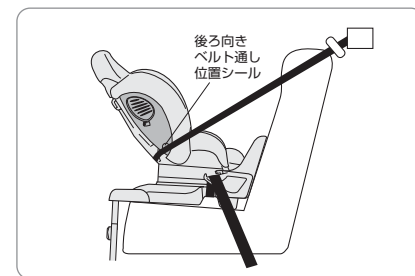
❽左右のベルトガイドに腰シートベルトを通します。

❾回転ロック解除レバーを手前に引いてヘッドレストが車内外側に来るように回転させ、レバーをはなすとカチッと固定されます。

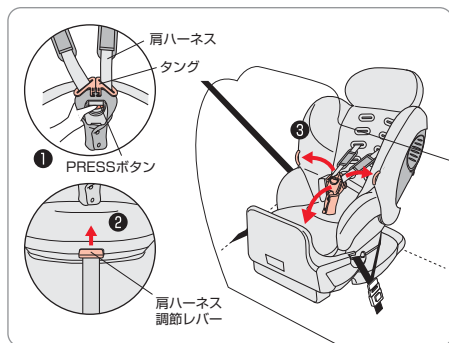
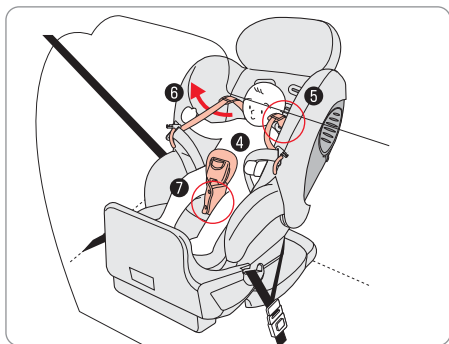
❿ベルトロックの矢印をタング側に向けタングの少し上に仮止めします。

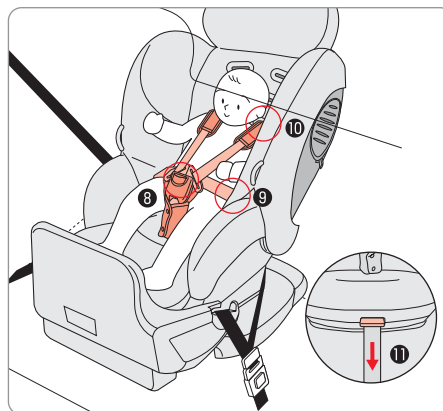
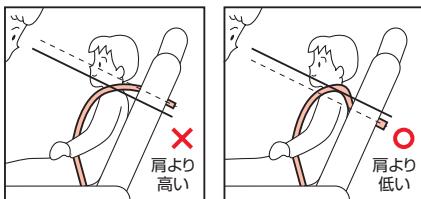
⓫本体に体重を掛けながら、肩シートベルトを真上に強く数回引き上げ保持します。

⓬肩シートベルトを保持しながらベルトロックをタングに当たるまで移動させます。

⑬肩シートベルトをチャイルドシートの背もたれ側にまわし、回転ロック解除レバーを手前に引いて本体を後ろ向きに回転させます。

⑭リクライニングレバーを引き上げ、リクライニングで角度を２段目にします。

⑮レッグサポートが車のフロアに接していることを確認します。

⑯取り付け完了後、チャイルドシートの底面と車の座席前方上面のスキ間が０～20mm未満であることを確認します。（20mm以上になる場合は、レッグサポートを１段縮めてください。）

〈座席にリクライニング機構がある場合〉
⑰❶～⑯の作業終了後、車の背もたれをチャイルドシートに強く当たるまで起こすと、より強く取り付けができます。

⑱仮止めのベルトクリップをはずし、余分なシートベルトを巻き取らせます。シートベルト出口に再度ベルトクリップを取り付けます。

⑲肩シートベルトが後ろ向きベルト通し位置シールの近くを通っていることを確認します。

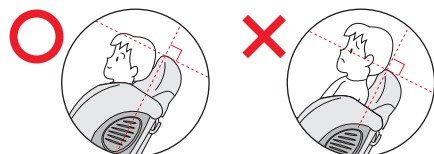
⑳チャイルドシート本体をゆすりシートベルトの緩みが無い事を確認してください。

## お子さまの乗せ方

❶バックルのPRESSボタンを足元方向に引き下げてタングを外します。
❷肩ハーネス調節レバーを持ち上げながら肩ハーネスを手前に引き緩めます。
❸左右のタングをタングホルダーに掛け、バックルを前に倒します。

❹お子さまをシートクッションの上に深く座らせます。
❺肩ハーネスが、お子さまの肩の位置より少し低い肩ハーネス通し穴に通っていることを確認します。
❻お子さまの両腕は肩ハーネスの下にくぐらせます。
❼バックルをお子さまの腹部の前まで引き起こします。

| ⚠注意 | ・後ろ向き使用の場合の肩ハーネスの位置は、背もたれに対し直角に見て必ず、お子さまの肩よりも低い位置にしてください。（0～5cm以内） |
|---|---|

❽左右のタングを合わせてバックルへ差し込みます。
❾腰ハーネスがお子さまの骨盤上に来るように低く下げてセットします。
❿ショルダーパッドは、お子さまの肩の上にくるようにセットします。
⓫肩ハーネス調節ベルトを引っ張り肩ハーネスを締めます。（肩ハーネスとお子さまの体の間に大人の指１本入る程度まで締めます。）

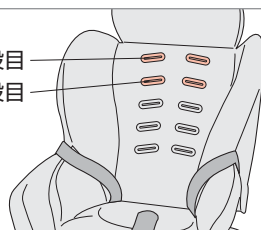
## 取り付けチェック

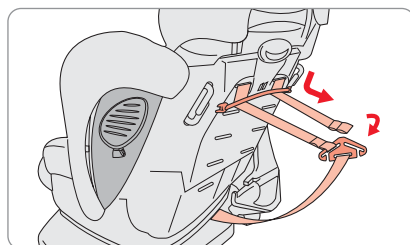
・チャイルドシートのベース中央部分を両手で持ち前後左右に動かしても安定している事を確認してください。
・ベルトロックが確実に取り付けられ、緩みがない事を確認してください。
・レッグサポートの調節ボタンの前にロックを解除する様な物が無いことを確認してください。

体重： 9kg 以上 18kg 未満　身長： 75cm 以上 105cm 未満
参考年齢： 1 歳頃～ 4 歳頃

・頭部重心位置（耳の上端部）がヘッドレストの上端部より下にあること。

## 本体の準備

### 肩ハーネス通し穴位置

参考身長
・４段目（75cm 位）
・５段目（90cm 以上 105cm 未満）
を目安として、位置を決めてください。

### 肩ハーネスの高さ調節

・P23 ～ P24 肩ハーネスの高さ調節の❶～❿の手順に従います。

❽４段目のみハーネスバーに通さず、そのまま下へおろします。（P37 参照）
５段目は上から下にハーネスバーの内側を通します。

❾肩ハーネスは、Ⓑの位置を使います。
お子さまの体格によっては、Ⓑの位置で肩ハーネスが余る場合があります。その場合は、Ⓐの位置を使います。

### レッグサポートの取り付け方

・P25 レッグサポートの取り付け方の❶～❺の手順に従います。



## 本体の取り付け方

❶車の後部座席が前後にスライドする場合は、一番後ろの位置までスライドさせ、リクライニング付きの場合は少し寝かせた状態で取り付けます。

❷シートベルトにねじれがないことを確認して、シートベルトのタングを車のバックルに差し込みます。

❸シートベルトを全て引き出し、ベルトクリップでシートベルトを仮止めします。

❹肩シートベルトをシートの上側に、腰シートベルトをシートの背もたれから 10cm 手前にねじれがないように整えておきます。

❺本体を前向きに乗せ、ベルト溝と腰シートベルトを合わせます。

❻レッグサポートの調節ボタンを握り、車のフロアにレッグサポートの底面全体が接地し、安定するように調節してください。この時、チャイルドシートの底面と車の座席前方上面のスキ間は５～25mm未満であること。（25mm以上になる場合は、レッグサポートを１段縮めてください。）
※レッグサポートは、８段階に長さの調節ができます。

❼レッグサポートが確実に取り付けられているか、取り付け部と調節部を引っ張ってロックが掛かっていることを確認してください。

❽左右のベルトガイドに腰シートベルトを通します。

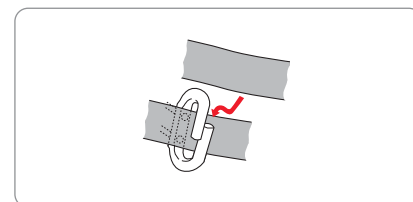
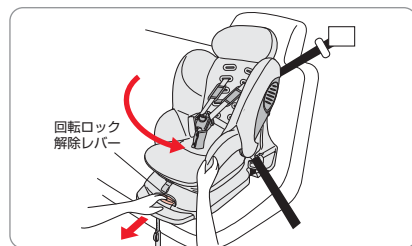
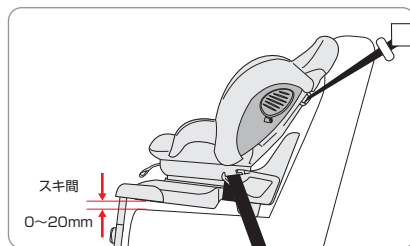
❾回転ロックレバーを手前に引いてヘッドレストが車内外側に来るように回転させ、レバーをはなすとカチッと固定されます。

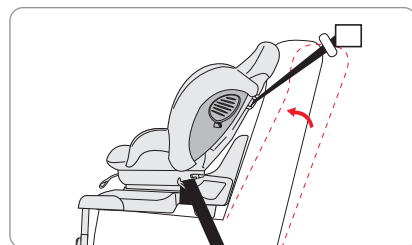
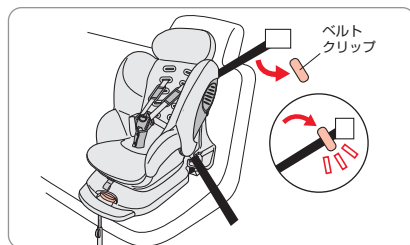
❿ベルトロックの矢印をタング側に向けタングの少し上に仮止めします。

⓫本体に体重を掛けながら、肩シートベルトを真上に強く数回引き上げ保持します。

⓬肩シートベルトを保持しながらベルトロックをタングに当たるまで移動させます。

⓭チャイルドシートの左右のベルトリングに車のシートベルトを通し、ネジレがない様に整えます。

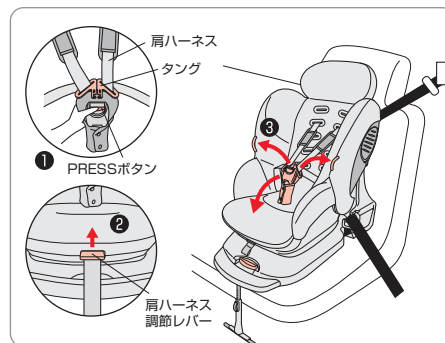
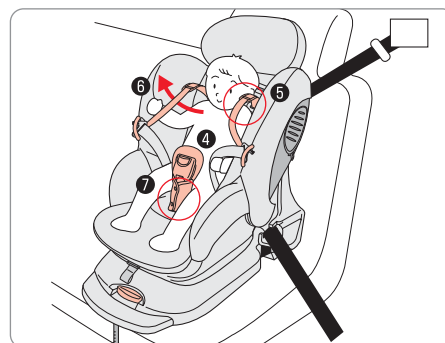
車の肩ベルトをベルトリングに通す方法

①車の肩シートベルトをベルトリングの隙間から内側に通してください。
②肩シートベルトが完全にベルトリングの内側にあることを確認してください。

⓮回転ロック解除レバーを手前に引いて本体を前向きに回転させます。

⓯チャイルドシートの底面と車の座席前方上面のスキ間が0～20mm未満であることを確認します。（20mm以上になる場合は、レッグサポートを1段縮めてください。）

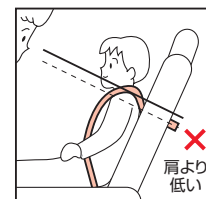
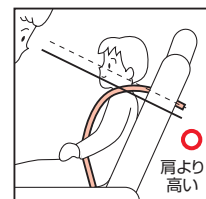
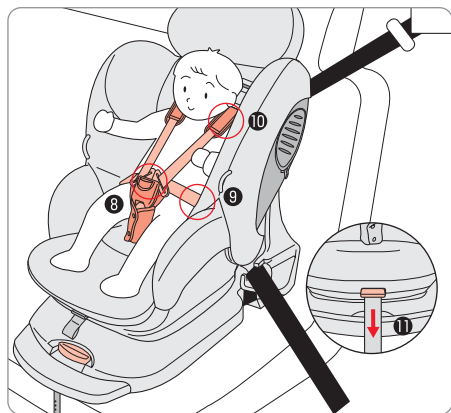
〈座席にリクライニング機構がある場合〉
⓰❶～⓯の作業終了後、車の背もたれをチャイルドシートに強く当たるまで起こすと、より強く取り付けができます。

⓱仮止めのベルトクリップをはずし、余分なシートベルトを巻き取らせます。シートベルト出口に再度ベルトクリップを取り付けます。

⓲チャイルドシート本体をゆすりシートベルトの緩みが無い事を確認してください。





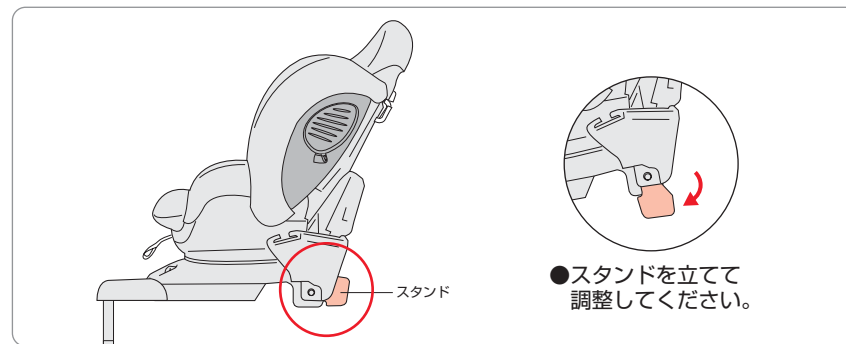
## お子さまの乗せ方

❶バックルのPRESSボタンを足元方向に押し下げてタングを外します。
❷アジャストカバーをめくり、肩ハーネス調節レバーを持ち上げながら肩ハーネスを手前に引き緩めます。
❸左右のタングをタングホルダーに掛け、バックルを前に倒します。

❹お子さまをシートの上に深く座らせます。
❺肩ハーネスが、お子さまの肩の位置より高い肩ハーネス通し穴に通っていることを確認します。
❻お子さまの両腕は肩ハーネスの下にくぐらせます。
❼バックルをお子さまの腹部の前まで引き起こします。

| ⚠注意 | ・前向き使用の場合の肩ハーネスの位置は、背もたれに対して直角に見て必ず、お子さまの肩よりも高い位置にしてください。（0～5cm以内） |
|---|---|

❽左右のタングを合わせてバックルへ差し込みます。
❾腰ハーネスがお子さまの骨盤上に来るように低く下げてセットします。
❿ショルダーパッドは、お子さまの肩の上にくるようにセットします。
⓫肩ハーネス調節ベルトを引っ張り肩ハーネスを締めます。（肩ハーネスとお子さまの体の間に大人の指１本入る程度まで締めます。）

## 取り付けチェック

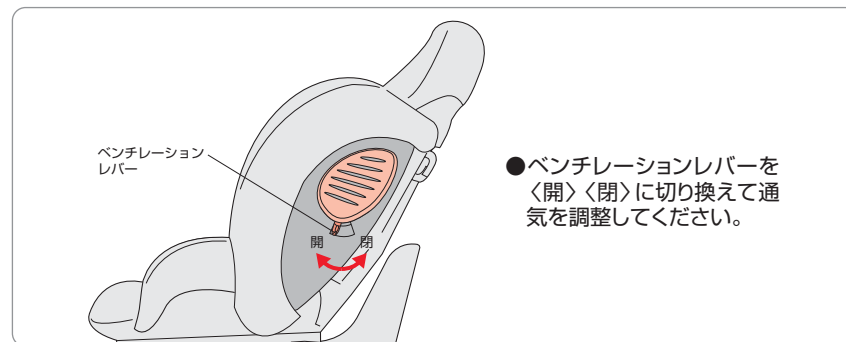
・チャイルドシートのベース中央部分を両手で持ち前後左右に動かしても安定している事を確認してください。
・ベルトロックが確実に取り付けられ、緩みがない事を確認してください。
・シートベルトがベルトリングを確実に通っているか確認してください。
・レッグサポートの調節ボタンの前にロックを解除する様な物が無いことを確認してください。

## スタンドの使用方法

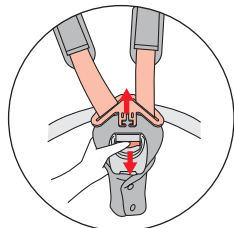
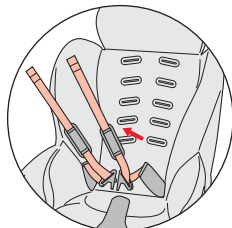
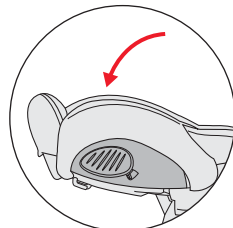
・大腿部、臀部をホールドする為に落とし込んである座席などで、チャイルドシートの底面が座席に接する部分が一部の場合、スタンドを使用します。

●スタンドを立てて調整してください。

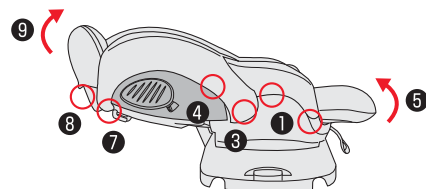
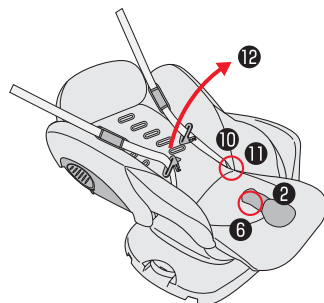
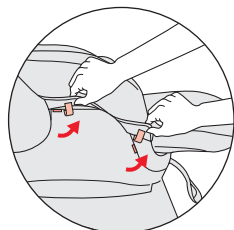
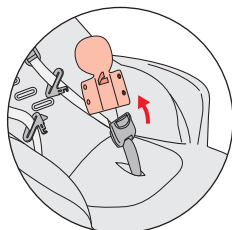
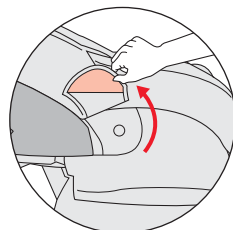
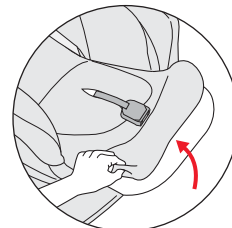
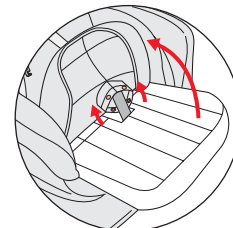
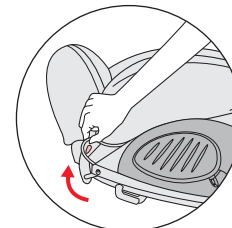
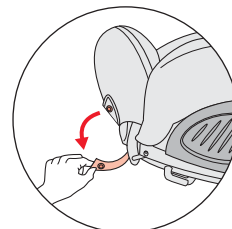
| ⚠注意 | ・スタンドを使用してもチャイルドシートの底面が座席に接する部分が一部の場合はその座席にはチャイルドシートを使用しないでください。 |
| --- | --- |

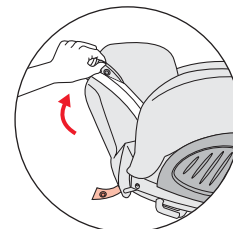
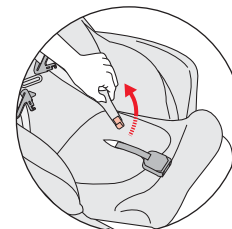
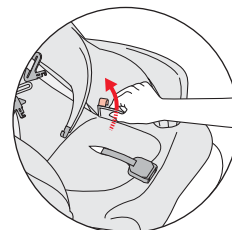
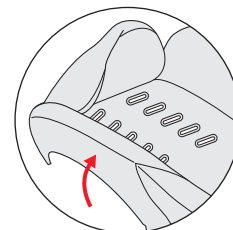
## ベンチレーションの使用方法

・ベンチレーションは、チャイルドシートの側部孔を開閉して、赤ちゃんを快適な状態にするために通気を調整します。

●ベンチレーションレバーを〈開〉〈閉〉に切り換えて通気を調整してください。

## シートカバーの外し方

### 準　備

①バックルから左右のタングを外し、肩ハーネスを外します。

②肩ハーネスを引き抜きます。（P23❶〜❹参照）

③リクライニングを最後（3段目）まで倒します。（P29⓯参照）

### 外し方

❶ 側面のフック（2カ所）を外します。（左右）

❷ 股ハーネスカバーのホック（2カ所）と面ファスナーを外し、抜き取ります。

❸ サイドカバーを外します。（左右）

❹ 前側からシートカバーをめくります。

❺ シートカバー裏面の股ハーネス部のホック（2カ所）を外します。

❻ 側面上部のフックを外します。（左右）

❼ ヘッドレストのベルトホックを外します。（左右）

❽ ヘッドレスト部のシートカバーをめくります。

❾ シートカバー腰部のフックを外します。（左右）

❿ シートカバー座部のフックを外します。（左右）

⓫ シートカバーを全て取り外してください。

※クッションの取り外しはできません。

## シートカバーの取り付け方

・シートカバーの外し方の逆の手順で取り付けてください。

## シートカバーのお手入れ

液温は、30℃を限度とし、弱い押し洗いにしてください。
（洗たく機は使用できません。）

塩素系漂白剤は、使用しないでください。

アイロン掛けは、しないでください。

ドライクリーニングは、しないでください。

洗たく後、絞らないでください。

干し方は、日陰の平干しにしてください。

## 樹脂部品のお手入れ

樹脂と車のシート生地などとの摩擦による、ほこりなどを吸着した場合は、ぞうきんで乾拭きしてください。

・**水溶性の汚れ（果汁、ヨダレ、オシッコなど）の場合**
40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。

・**非水溶性の汚れ（牛乳、油脂、マヨネーズなど）の場合**
40℃前後のお湯に中性洗剤を溶解し、汚れた部分をスポンジで軽くこすります。
その後、冷水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って充分に中性洗剤を拭き取ってください。



## 保管方法

・本体をポリ袋などに入れ、直接日光の当たらない、冷暗所に保管してください。

## 廃棄方法

・事故により処分する場合は、本品に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入してください。
・地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自治体の指示にしたがい処分、廃棄してください。

## アフターサービスについて

・ご使用中に万一故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換又は修理の必要が生じた場合、及び、その他異常を感じた場合は、使用を中止して製品名、品番、ロット番号を確認のうえ、お買い求めの販売店又は、弊社サービス係までご連絡ください。

・本製品による二次的な損傷については保証いたしかねます。

**〈アフターサービスについての連絡先〉**

**アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社**

**〈電話連絡先〉**
**お客様サポートセンター　TEL 0120ー415ー814**
受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、当社所定休日を除く）

**〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉**
〒632-0221　奈良県奈良市都祁白石町1397-1
アップリカ 奈良サービスセンター　☎（0743）84-2050

## 製品仕様

| 商品サイズ | ・ベッド時：W800 × D585 × H835 |
|---|---|
| | ・起　立　時：W440 × D630 × H1140 |
| 商品重量 | ・サーモG SpO2：14.5 kg |
| | ・サーモG　　　：14.3 kg |
| 材質 | ・樹　脂　部：ポリプロピレン |
| | ・シートクッション：ポリウレタン発泡 |
| | ・表　生　地：ポリエステル |

# 困ったときにお読みください

## ご使用前の確認で困ったとき

| No | お気づきの点 | 対処方法 |
|---|---|---|
| ❶ | 梱包箱の内容物に不足や間違いがある。 | 販売店または弊社サービス係に連絡してください。<br>参照 P56「アフターサービスについて」 |
| ❷ | チャイルドシートをご使用になる車に、取り付け可能か判らない。 | 販売店または弊社サービス係に連絡して確認してください。参照 P56「アフターサービスについて」 または、インターネットのApricaホームページ「http://www.aprica.co.jp/」のチャイルドシート取り付け可能車種一覧表にご使用になる車の車種が有ることを確認してください。 |
| ❸ | 車のどの座席に取り付ければ良いのか判らない。 | エアバックの有る助手席に後向けに取り付けることができません。また、車両後部座席（3列シートの車両の場合は2列目以降の座席）への取付をお奨めします。<br>参照 P17「座席の位置及び装備」 |
| ❹ | チャイルドシートをどの向き（横向きベッド・後ろ向き・前向き）で使えば良いか判らない。 | お子さまの体重・身長・年齢からお使いになる向きを決定してください。<br>参照 P16「ご使用になれるお子さまの条件」 |

## お車への取付で困ったとき

| No | お気づきの点 | 対処方法 |
|---|---|---|
| ❶ | シートベルトの通し方が判らない。 | 取扱説明書及びベースの表示シールの内容に従って正しく通してください。<br>参照 P26（横）,38（後ろ）,46（前）「本体の取り付け方」 |
| ❷ | シートベルトの“ねじれ”が取れない。 | チャイルドシートを取り外し、車の取扱説明書に従って“ねじれ”を取り除いてください。<br>参照 P26（横）,38（後ろ）,46（前）「本体の取り付け方」 |
| | | シートベルトのバックルにタングを“ねじって”挿入していないか確認してください。<br>参照 P26（横）,38（後ろ）,46（前）「本体の取り付け方」 |
| ❸ | シートベルトのゆるみやたるみが取れない。 | 取扱説明書に従い、ベースに体重をかけ車の座席に十分沈み込ませた状態で、シートベルトを締め付けてゆるみやたるみをなくしてください。<br>参照 P28（横）,40（後ろ）,48（前）「本体の取り付け方」 |
| ❹ | チャイルドシートを、取扱説明書の通りに車の座席に取り付けてもグラグラする。 | ベースの中央を持ち前後左右に動かした時に、移動量が2.5cm以内ならば問題ありません。2.5cm以上発生する場合は、車体への取り付け方法を再度ご確認の上、もう一度初めから取り付け直してください。<br>参照 P30（横）,42（後ろ）,49（前）「本体の取り付け方」 |
| | | フィットスペーサーをご使いください。<br>参照 P35「フィットスペーサーの使用方法」 |
| | | 何度やっても固定できない場合は、チャイルドシートと車の座席がミスマッチの可能性があります。販売店または弊社サービス係に確認してください。<br>参照 P56「アフターサービスについて」 |

## お子さまの着用や調節で困ったとき

| No | お気づきの点 | 対処方法 |
|---|---|---|
| ❶ | 肩ハーネスを最も引き出した状態でも、お子さまに肩ハーネスを通した状態でバックルにタングが差し込めない。 | 厚手の上着は脱がせてください。 |
| | | 肩ハーネスの取り付け段を長くなる位置でお使いください。<br>参照 P24（横）,37（後ろ）,45（前）「肩ハーネス高さ調節」 |
| | | ハーネスジョイントが本体やベースなどに引っ掛かっていないか確認してください。<br>参照 P23（横）,37（後ろ）,45（前）「肩ハーネス高さ調節」 |
| ❷ | 肩ハーネスとお子さまの適切なフィット感が判らない。 | ハーネス調節ベルトを引き、ハーネスとお子さまの隙間が指1本入る程度まで締め込んで下さい。<br>参照 P31（横）,43（後ろ）,50（前）「お子さまの乗せ方」 |
| ❸ | 肩ハーネスの左右の張りに大きな差がある。 | 肩ハーネス通し穴の位置が左右同じ高さになっているか確認する。<br>参照 P23（横）,37（後ろ）,45（前）「肩ハーネス通し穴位置」 |
| | | 肩ハーネスの取付段が同じ位置か確認してください。<br>参照 P23（横）,37（後ろ）,45（前）「肩ハーネス高さ調節」 |
| ❹ | チャイルドシートのバックルにタングが入らない。 | タングとバックルの間にバックルカバーなどを挟み込んでいないか確認してください。<br>参照 P31（横）,43（後ろ）,50（前）「お子さまの乗せ方」 |
| | | バックルにジュース、泥水、ゴミ、食べ物カスなどが入った為にプレスボタンが動かない場合は使用できません。<br>参照 P9「ご使用上の注意（注意）」 |
| ❺ | ヘッドプロテクターが窮屈になった。 | ヘッドプロテクターの位置調節バックルの上下ボタンをつまみながらヘッドレスト側に引き延ばしてください。<br>参照 P32「ヘッドプロテクターの位置調節」 |

## 再利用で不明な点の有る場合

| No | お気づきの点 | 対処方法 |
|---|---|---|
| ❶ | 前の使用者がどのような使い方をしていたか分からない。 | 使用状態が不明な製品をご使用になることはできません。<br>特に事故歴の不明な場合はご使用になれません。 |
| ❷ | クラック（ひび割れ）や大きなキズ、留め金部の緩みなどがある。 | ご使用になれません。<br>参照 P9「ご使用上の注意（禁止）」 |

※お客様登録カードは、当社よりリコールや自主回収などチャイルドシートに係わる重要な情報を連絡する際に必要となります。お買い上げ日、またはお子さまが生まれた日より1カ月以内に投函してください。